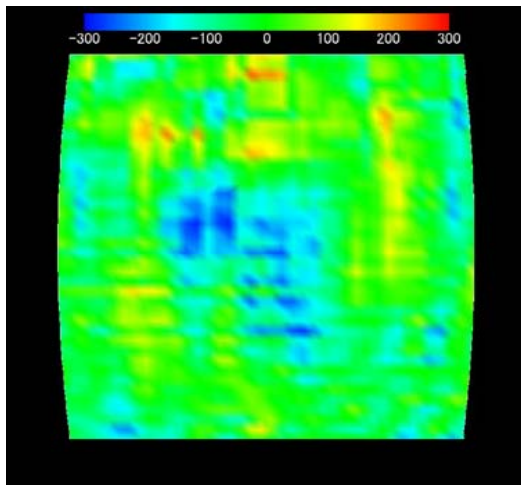
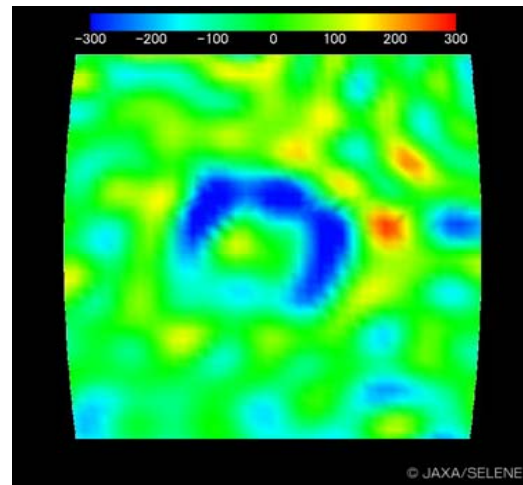


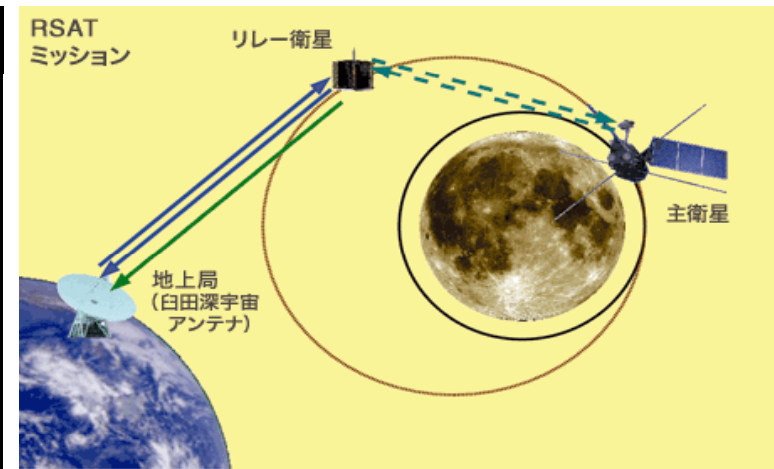
えいせい つき ひ えいせい いち そくど つか
衛星が月にどのくらい引かれるのかを、衛星の位置と速度を使って
けいさん つき じゅうりよく わ
計算すると、月の重力が分かります。ところが月はいつも同じ面を地
きゅう む えいせい み つき おもてがわ じゅうりよく よ わ
球に向けているので、衛星が見える月の表側の重力は良く分かって
も、衛星が見えない月の裏側の重力は精度良く計算できません。
「かぐや」では つき うらがわ えいせい いち ちゅうけい えいせい
「かぐや」では月の裏側で衛星の位置を中継するためのリレー衛星
つか せかい はじ うらがわ じゅうりよく せいど よ かんそく
を使って、世界で初めて裏側の重力を精度良く観測しました。



かぐや以前(いぜん)の
重力場(じゅうりよくば)



かぐやの観測(かんそく)



衛星(えいせい)の位置(いち)情報
(じょうほう)を中継(ちゅうけい)